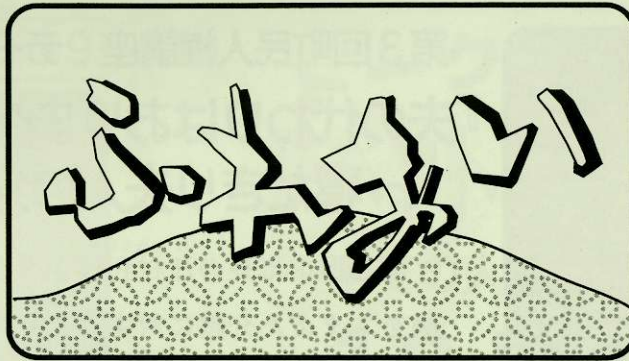


いろんな人と人とのつながり、  
ふれあいを 美浜のMと波で  
イメージしました。



美浜町人権尊重啓発協議会会報

# 第40号

発行:平成21年11月20日  
(年3回発行)

編集:人権協広報調査部会  
連絡先:美浜町生涯学習課

TEL 32-6709

FAX 32-9032

E-mail:jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

## 町民文化祭 人権協コーナー

### 「リボンつなぎで人つなぎ」・「ゆらゆらシーソー」でメッセージ

11月1日、3日に中央公民館と弥美小学校で町民文化祭が開催されました。昨年度大好評だった人権クイズ(迷路)や、紙皿にメッセージ入りの温かい飾り付けをした「ゆらゆらシーソー」づくりにたくさんの人が訪れてくださいました。



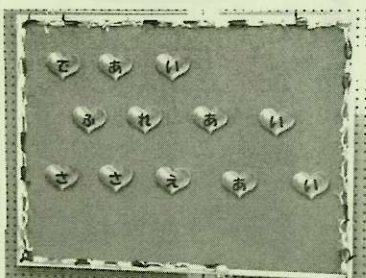
難迷路に  
挑戦だ!



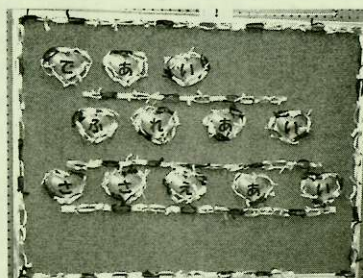
素敵なシーソーの  
できあがり♡



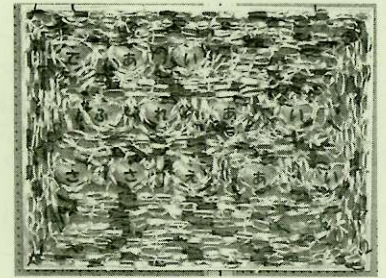
「リボンつなぎで人つなぎ」は「であい ふれあい ささえあい」のメッセージをリボンでつないでいってもらうものです。今年度は“人権協コーナーの部屋”をとび出し、会場各所の方々に参加していただきました。リボンをつなぐときのあいさつでつながりが生まれ、多くの方々の間にたくさんの輪ができました。



最初



途中



完成

みんなのおかげで、リボンで飾った素敵なパネルができました。ありがとうございます。



## 第3回町民人権講座 テーマ【高齢者】 『夫の代わりはおりまへん ～寝たきり夫人の介護体験日記～』

前高槻市市長の江村利雄えむらとしおさんを講師にお迎えし、実験をふまえた介護に対するお考えを、軽快かつエネルギーにお話していただきました。

「あきらめないこと」「前向きでいること(プラス思考)」「経験を宝にしていくこと」といった江村さんの生き方そのものを土台にして、力を抜いて介護に当たらないと長続きしないことや、いざというときに困らないためにも普段から自分の身の回りのことを自分でしておくことの大切さなどについて話してくださいました。

力まず、それでいて家族の一員として、介護する姿勢、また、前向きにどうしたらいいか考える態度など、いろいろ教えられました。

これからの介護、福祉、保険に関して大変よいヒントになりました。美浜町が安心して住める町になることを願っています。

できることなら元気に過ごせたらいいな・・・と誰しも思っていると思いますが、今から予防、訓練、お互いできることは協力しながらやっっていこうと思います。(家事も含めて)

いつもたくさんの感想をありがとうございます。(編集委員より)

## 第5回町民人権講座 テーマ【環境】 『食べ方が上手だった日本人』

魚柄仁之助うおつかじんのすけさん(食文化研究家)は、1円でも安いものという値段だけを追い求める消費者の姿勢にも、食品偽装や農業衰退の責任の一端があり、食の安全を自ら脅かしていることになると指摘されました。



質素・倹約と食の安全は両立しないと思っていましたが、そうでないことを知りました。

賞味期限、消費期限のからくりについて、初めて納得しました。

「おたより部会」も言葉と写真などを駆使して、私たちの中に潜む差別心に気づかせてくれる、正しいアクションを起こすための手がかりを教えてください、欠かすことのできない部会である。ヒューマンライツ「human rights」という英語がある。その和訳には「人権」という言葉

### コラム

#### すばらしい人たち

西野泰弘



教育現場を離れて3年間、人権協の事務局をさせていただいた。美浜町の部落差別解消をめざして立ち上がった同推協から現在の人権協にいたっているが、昔も今もその推進委員は、熱意のあるボランティアスタッフである。差別という、ときには人の命をも奪いかねない恐ろしい敵を人の心から追い出すべく、七つの部会に分かれて取り組みを続けて下さっている。この

人権のつどい2009



《出演》  
バイマーヤンジン  
(チベット人声楽家)

# トーク&コンサート チベットからのメッセージ

～全ての人が幸せになるために～

## 12月5日(土)

午後1時30分～3時

(午後1時開場) 《入場無料》

美浜町中央公民館 ホール

1994年来日以来、チベットの音楽、文化、習慣などを紹介するため全国的にコンサート活動を行っておられます。「故郷の子どもたちに教育を！」とはじめたチベットの学校建設活動も大きな成果をあげ、今では9つの小学校と1つの中学校が開校。日本とチベットの子ども同士の交流も積極的に行っておられます。

### 第4回町民人権講座 テーマ【男女の共生】

## 『男らしさのゆくえ ～できない男からできる男へ～』

いとうきみお

講師は伊藤公雄さん。男女の関係から戦後の日本社会を見つめ直し、これからの日本の地域社会は男女両性で支える方向へ進むことの必要性を話されました。

男性自身の幸せのためにも、男性がどんどん意識を変えていける社会になるといいなと思います。私は、母として息子を過保護にしないよう、努力しようと思います。

できる男と聞いて、てっきり「仕事のできる男」を想像していましたが、「家事、育児、介護のできる男」と聞いて、まずは意外でした。自分自身は今、明らかに働きすぎです。仕事の効率を上げるための努力を惜みず、そのうち十分な家庭での時間がとれるようにしたいと思いました。



固定観念を正していくこと、世界的な視野に立って見ないと、ただ口で男女共同参画と言ってもダメだと思いました。「多色刷りの社会」ということ、納得しました。

が当てられるのだが、直訳をすれば「人として正しいこと」という意味である。ある研修で聞いた話だが、「人権」という言葉よりも「ヒューマンライツ」の方がよほど聞こえがよく、わかりやすいと感じた。さらに興味深かったのは「ヒューマンライツ」ではなく「ヒューマンライツ」【複数形】であるということ。それは、私たち人間が正しいことを一つずつ積み重ねてきた証として複数形になっているのだという。

美浜町の人権の屋台骨を支えるこの人権協も長い年月をかけたながらこのヒューマンライツを積み上げてきて下さった。その時代その時代の「正しいこと」を見極めながら、時には声を上げ、差別解消や思いやりのあるまちづくり・人づくりに貢献されてきた。

人権協が解散する日が来るといいのだから、現状では難しい。私たちの心の壁の一つでも低くし、なくしていく人権協の取り組みに一人でも多くの方が賛同・参加していくことを願っている。

# 人権に関する町民意識調査の結果から その1

## 調査の目的

美浜町人権尊重啓発協議会では、様々な人権問題の解決・解消に向けて、啓発活動などの取り組みを進めています。その一つとして、今年の7月に「家庭（仕事・しつけ）」「高齢者」「子ども」に関する項目について住民の皆様のお考えを聞かせていただき、今後の取り組みの参考とするために実施しました。

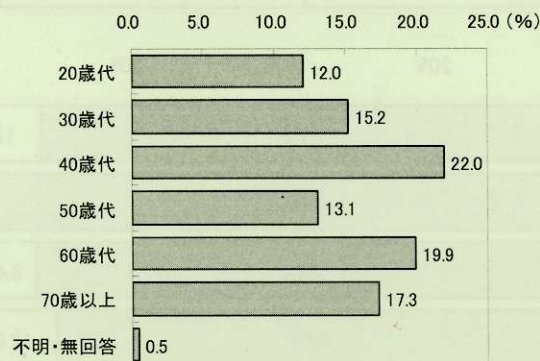
## 調査設計

- ① 調査対象：20歳以上の住民から400人を無作為に抽出
- ② 調査方法：郵送配布・郵送回収により実施
- ③ 調査時期：平成21年7月

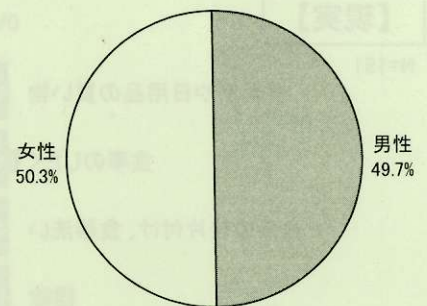
## 回収結果

- ① 配布数：400通
- ② 回収数：191通
- ③ 回収率：47.8%

回答者の年齢別割合



回答者の性別割合



実施した調査項目は12問におよびましたが、それらのまとめの中から今回は、「家庭内の仕事分担の理想と現実」の結果についての考察を報告させていただきます。

なお、それ以外の結果については、今後、広報等を通じて随時報告させていただきます。また、年度末には全項目の結果等を冊子にまとめる予定をしております。

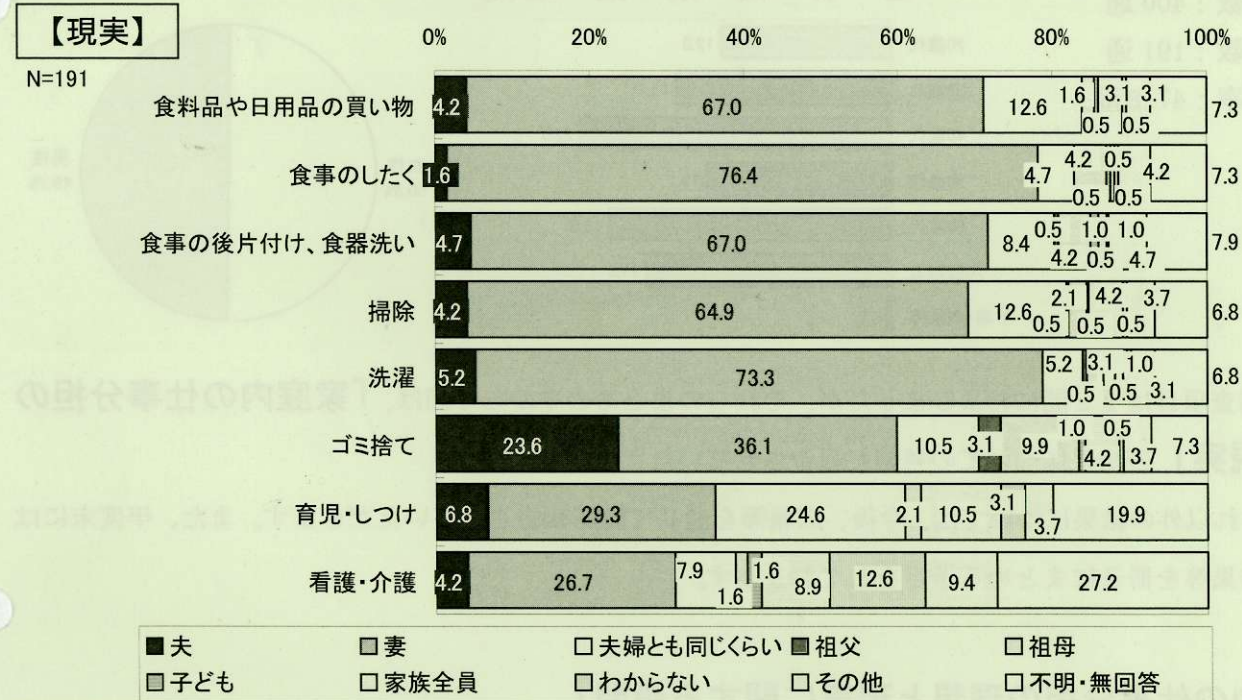
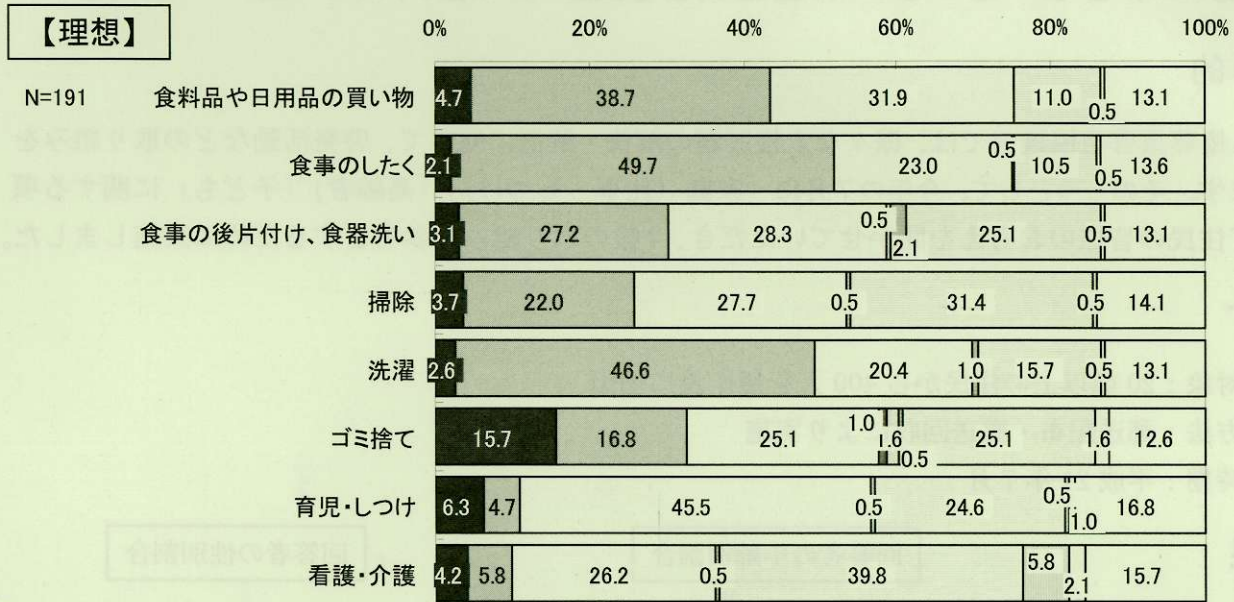
## 「家庭内の仕事分担の理想と現実に関する設問」

問3. あなたは、次にあげるような家庭内の仕事を、主に誰が分担するのが理想だと思いますか？また、実際に主に誰が分担していますか？（番号をお書き下さい。）

	仕事の内容	理想	現実
ア	食料品や日用品の買い物		
イ	食事のしたく		
ウ	食事の後片付け、食器洗い		
エ	掃除		
オ	洗濯		
カ	ゴミ捨て		
キ	育児・しつけ		
ク	看護・介護		

- 1 夫
- 2 妻
- 3 夫婦とも同じくらい
- 4 祖父
- 5 祖母
- 6 子ども
- 7 家族全員
- 8 わからない
- 9 その他 ( )

# 調査結果



## 考察

- 家庭内の仕事分担について、理想では、多くの項目においても「夫婦とも同じくらい」「家族全員」が多くなっていますが、現実では「妻」が多くを占める項目が多くなっている。
- 全項目の中では、「食事のしたく」「洗濯」については、理想・現実ともに「妻」が多くなっている。他の項目に比べれば、「ゴミ捨て」は夫が実際に行っている割合が高い。
- 「食事の後片付け、食器洗い」「掃除」「ゴミ捨て」「看護・介護」の項目では、理想では「家族全員」で行うと答えている割合が高い。特に「看護・介護」の項目は高い割合を示しているが、現実では少ない。
- 男女別の回答からは「食事のしたく」「洗濯」について、女性に家事の負担がかかっていることは事実であるが、女性も理想として女性のすべきことととらえている傾向が見られる。また、理想での回答は男女とも同じような傾向であるが、現実での回答では違いが見られる。現実では夫はやっているつもりでいるが、女性は夫がやっていると感じていないともとれる。（今回の報告には男女別のグラフはありません）
- 年代別の回答からは70歳代に理想で「夫」の項目は少ない（無回答が多い）が、20歳代・30歳代では、「夫婦ともに」という項目が多い。（今回の報告には年代別のグラフはありません）

みなさんのご家庭でも、この結果を家族で話題にいただけると幸いです。

# こえ 声 こえ

「ふれあい」第39号をお読みになった読者の方より、おたよりが寄せられましたので一部を紹介します。

○私は思います。それぞれのひとに、いい事と悪い事と半分半分与えられていると思うから、ずっと悪いことばかりは決して続かないと。のりこえて思いかえしたときに、過去をやさしくふりかえれると思います。

そんなことを思ってしまいました。^\_^; 【久々子Aさん】

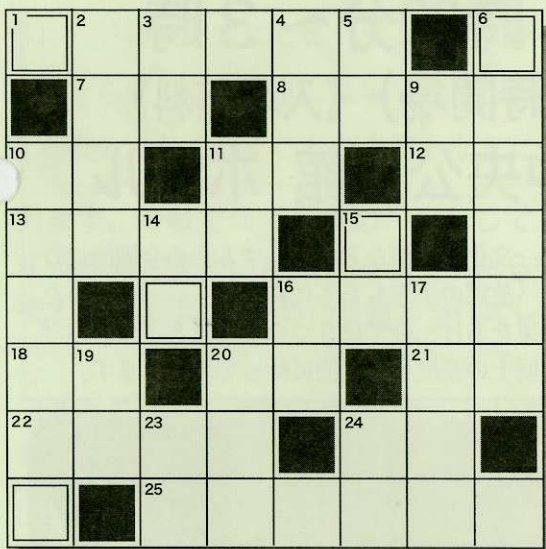
○障がい者の方の親は、自分も老いていくのに、普通は子どもに甘えて支えてもらったりできるものを、障がい者の子どものために老体にムチを打つかのように、動き、子どもを支える。でも、子供をみるまなざしは、やさしさそのもので、愛しくほほえんでいます。【河原市Mさん】

○若い人達に大きな夢がなくなったような気がします。夢を持たせてあげる環境は大人がしっかりきちんとした社会を築き、若い人達を見守ってやらなければなりません。大人のがんばりを見て若人はがんばる気持ちや夢に向かう力を発揮していくのだと思います。今の大人よがんばれ!

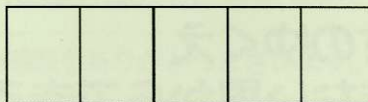
【早瀬 Mさん】

○「子どものために大人も学び続けなければならない」ということを教えたいと思います。日々何気なく過ごしていると、大切なものを見失いますが、時おり「ふれあい」や講座で気づかされるが多々あります。とても幸せなことだと思います。

【菅浜 Tさん】



二重わくの中に入った文字を使ってできる言葉が答えです。



## ■応募方法■

- 答え・住所・氏名を別紙とじこみ用紙に書いて下記までお送り下さい。  
〒919-1192 美浜町郷市25-25  
美浜町生涯学習課内 人権協事務局
- 〆切は、平成21年12月25日(金)です。
- 正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りします。
- なお、前号の「人権クロスワード」の正解は、「ゆめ(みる)ちから」でした、当選者は次の皆様でした。おめでとうございます。

- 武藤 光子さん (寄戸)
- 藤原 茂樹さん (和田)
- 青山めぐみさん (久々子)
- 水上 利子さん (河原市)
- 松室 松江さん (早瀬)

### よこのカギ

1. リトマス紙が、赤から青に変化。
7. 紙に弱い、ハサミに強いもの。
8. 宇宙から飛来する岩石等のこと。
10. 運動している時などに掻くもの。
11. 借金の返済時に上乘せされます。
12. 3色の毛が生えている猫の総称。
13. 残念、ストライク×3でアウト。
16. 理科に使われるガラスの入れ物。
18. オスは角を持つ、山にいる動物。
20. 有名な彫刻、〇〇のヴィーナス。
21. 台風などで、雨の量が多いこと。
22. 正のことはプラス。では負は?
24. エジプト神話に出てくる太陽神。
25. 北方領土で、一番面積の広い島。

### たてのカギ

2. 涙の出る原因となる体内の器官。
3. 食事と食事の間に食べる嗜好品。
4. 動かずに、じっとしていること。
5. 小→中→高校→大学→大学〇〇。
6. 威勢のいい様子を表す四字熟語。
9. みーん、みーん、みーん、……。
10. 簡単ですぐに出来てしまうこと。
11. マッチの先端の赤い部分の原料。
14. 物事をそれとなく知らせること。
15. 〇〇洗い、〇〇回し、〇〇鯉鈍。
16. 湯船に浸かって疲れを取ります。
17. ゴールを目指すために切るもの。
19. 日本〇〇、北極〇〇、地中〇〇
20. 日本語で、キリヤカスミのこと。
23. 発芽して間もない草や木のこと。
24. ゴルフで芝を刈っていない場所。

## 編集後記

九州の「城南海」というと、そんな湾があったかと思ってしまうが、奄美出身の十九才、デビューして一年の歌手で「ぎすぎみなみ」という。透き通った歌声にひかれ、最近車中でよく聞いている。「アイツムギ」という歌が特にいい。

♪高い枝を見上げるあまり  
足下の花を踏んでないか  
誰かにとって大事なものは  
はかりにかけて汚してはないか

聞きたびごとにちがうことを思い起こさせる。あるいは、聞く人によっても思いが様々かもしれない。  
今年は大きな選択の年だったが、ふだんから私たちは色々な場面、はかりにかけて選り判断して生きている。しかし、はかりは時としてくるうこともある。今、自分のはかりは? 辞書をひもとくと、人権の「権」には、はかりという意味もあるという。